

外部評価結果の公表シート

整理番号	事業名
補助金1	在宅福祉ふれあい事業費補助金

所管部局
保健福祉部地域福祉課

※()の数字は、委員数

所管部局の評価			外部評価	
評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価の妥当性	「妥当でない」と評価した理由
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	妥当(5) 妥当でない(0)	〇東部地域を除き、一部外注によるコスト削減が望ましい。
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当	妥当(4) 妥当でない(1)	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	妥当(1) 妥当でない(4)	〇利用者への聞きとり調査等で成果の定量化を図るべき。 〇成果指標を持たずに達成状況の判断はできない。 〇定量的なもの、数値ではなくとも指標はきちんと作るべき。 〇年々と要求が高まるので、データを集めて意義あることを示すべき。 〇利用者の満足度等の調査が行われていないため、成果が達成しているとはいえない。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適	妥当(3) 妥当でない(2)	
コスト・負担	コストの節減度	節減できている	妥当(1) 妥当でない(4)	〇全事業の支出内訳、使途を明確化すべき。 〇受益者負担を少しでも増やすべき。 〇補助率の引き下げなど改善が進んでいることは評価するが、サービスごとの節減度についての評価はこれからである。 〇受益者負担も限界があると思うが、見直しは必要ではないか。 〇無料ではなく、多少の受益者負担を求めるなど、検討の余地がある。 〇事業費のチェックが甘い。経費を減少させる余地があると考えられる。 〇介護予防や認知症予防の取り組みに重点を置き、介護保険料の増加を軽減する役割を果たしてほしい。
	将来コスト増減見込み	現在より増加する可能性がある	妥当(3) 妥当でない(2)	
	受益者負担の適正度	適正である	妥当(2) 妥当でない(3)	
執行方法	外部委託の可能性	評価対象外		
	実施方法の効率性	評価対象外		

所管部局による今後の改善策	
基本方針	現行どおり



今後の改善策について	意見・提言
現行どおり (1) 改善(4) 当面現状維持(0) 廃止(0)	〇社会情勢からすると、対象者は増えていき需要が減ることはない。 〇改善の手を緩めると青天井に事業費も膨らんでしまう。 〇将来コストが増加するという見解であれば、常に見直しをしていく必要があると考える。 〇重要な事業で、これから益々活動費が必要となってくることから、基金を増やし、寄付を募り、収入を増やすべき。 〇介護予防のために、もっとふれあいを、町会(小さな)合同で会食をする等、工夫の余地がある。 〇東部地域における各種サービスの統合を漸次すすめる必要がある。
外部評価委員会としての提言 改善	

